

『ファミリーランド』 澤村 伊智 著 早川書房 (分類:Fサ)

スマートデバイスで嫁を監視する姑、引きこもりを支援する自律型看護ロボット…。明るい未来に待つ素晴らしい悪夢を描いた全6編を収録する。『SF マガジン』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。



『我らが少女A』 高村 薫 著 毎日新聞出版 (分類:Fタ)

12年前、元中学美術教師が東京郊外の公園で殺害された。犯人はいまだ逮捕されず、当時の捜査責任者・合田雄一郎の胸に後悔と未練がくすぶり続けていた。そこへ思いも寄らない新証言が-。『毎日新聞』連載を単行本化。



『猫をおくる』 野中 柊 著 新潮社 (分類:Fノ)

たくさんの猫たちが暮らす木蓮寺の住職の真道は、猫専門のムーンライト・セレモニーを開設する。そこでは猫が手あつく弔われ、いつしか猫に生かされてきた男女が集うようになっていた…。『小説新潮』掲載をまとめて単行本化。



『てんげんつう 「しゃばけ」シリーズ 18』

畠中 恵 著 新潮社 (分類:Fハ)

若だんなと妖たちが、不幸のどん底に!? 於りんと、兄やの仁吉も剣呑なことに巻き込まれ…。若だんなは大事な人たちを守れるのか。「しゃばけ」シリーズ第18弾。『小説新潮』掲載を単行本化。



『夏の騎士』 百田 尚樹 著 新潮社 (分類:Fヒ)

あれから31年。ぼくが今もどうにか人生の荒波を渡っていけるのは、あの頃手に入れた勇気のおかげかもしれない。昭和最後の夏に経験した、謎をめぐる冒険、友情、そして恋を描いた、百田版「スタンド・バイ・ミー」。



『マチネの終わりに』 平野 啓一郎 著 毎日新聞出版 (分類:Fヒ)

深く愛し合いながら一緒にいることが許されなかった蒔野聡史と小峰洋子。2人はなぜ別れなければならなかったのか。そして、再び巡り逢えるのか。恋の仕方を忘れた大人に贈る恋愛小説。『毎日新聞』連載を単行本化。



『ジョン・マン 7 邂逅編』 山本 一力 著 講談社 (分類:Fヤ)

捕鯨の大成果を挙げ、フランクリン号で晴れがましく帰港した万次郎を深い哀しみが襲う。彼は必ず仲間と日本に帰ることを決意し…。中浜万次郎ことジョン・マンの生涯を描いた第7弾。『小説現代』連載を単行本化。



『三つ編み』 レティシア・コロンバニ 著 早川書房 (分類:953 コ)

インド、イタリア、カナダ。3大陸の3人の女性。かけ離れた境遇に生きる彼女たちに共通しているのは、女性に押しつけられる困難と差別のために立ち向かっていること…。逆境を生きる女性の連帯を描く物語。



『まなの本棚』 芦田 愛菜 著 小学館 (分類:019 ア)

小学生で夢中になった児童書、次々と読破したシリーズもの…。年間 100 冊以上も読み、本について語りだしたら止まらない芦田愛菜が“秘密の約 100 冊”を紹介する。山中伸弥、辻村深月との対談も収録。



『Think clearly 最新の学術研究から導いた、よりよい人生を送るための思考法』

ロルフ・ドベリ 著 サンマーク出版 (分類:141 ド)

「考えるより、行動しよう」「なんでも柔軟に修正しよう」…。心理学、行動経済学、哲学、投資家や起業家の思想をひもとき、まとめあげた、あなたの人生がうまくいく可能性を高めてくれる 52 の思考法を紹介する。



『心。 人生を意のままにする力』

稲盛 和夫 著 サンマーク出版 (分類:159 イ)

人生とは心が紡ぎ出すものであり、目の前に起こってくるあらゆる出来事はすべて、自らの心が呼び寄せたものである。当代随一の経営者・稲盛和夫が、よりよく生きるための心のありようを綴る。「生き方」の続編。



『ひとり老後、賢く楽しむ』 岸本 葉子 著 文響社 (分類:367 キ)

59歳でローンで家を買ったひとり暮らし70代女性が後悔していない理由、1か月後に死んでも100歳まで生きて満足するプラン…。いろいろな人に話をきいて「ひとり老後」の明るい迎え方を考えてみました。



『もっと知りたいミュシャ』 千足 伸行 著 東京美術 (分類:726.50 ミ)

女優サラ・ベルナールとの衝撃的な出会い、友人ゴーギャンとの関係、ベル・エポック…。アール・ヌーヴォーの代名詞的な存在、ミュシャの生涯をカラー図版でたどる。大作「スラヴ叙事詩」全20点も紹介。



『なんにもなかった 戦中・戦後の暮らしの記録 拾遺集戦後編』

暮らしの手帖社 (分類:916 ナ)

1945年8月15日「玉音放送」の前後に、何があったか？何を思ったか？あの日を生きた人々が、その体験を綴る。「戦中・戦後の暮らしの記録」で選外となった投稿から全49編を収録する。



新しく入った 児童図書・YA (8/4) 予約受付いたします!

『おろろんおろろん』 石黒 亜矢子 さく 偕成社 (分類:Eイ)

おろろんとは、真っ赤な月の夜に行列して歩く、おばけのパレード「百鬼夜行」のこと。大人たちが夜に消えると、留守番の子どもたちは自分たちの「おろろん」を始めることに…。子どもたちの百鬼夜行をユーモアたっぷりに描く。(幼児～)



『ロージーのひよこはどこ?』

パット・ハッチンス さく 好学社 (分類:Eハ)

めんどりのロージーが産んだ卵からひよこがかえった。ところが白い殻だけを残して、ひよこがない! ロージーは大慌てで、にわとり小屋の下や、かごの中、手押し車の中などを探すが、見つからず…。(幼児～)



『まどのそと』 佐野 史郎 作 岩崎書店 (分類:913 サ)

かたかたかた…かたかたかた…窓がかたかた鳴っている。風がないのに、地震もないのに、ずっとかたかた鳴っている。眠れなくてカーテンを開けたら、誰かがのぞいていて…。佐野史郎とハダタカヒトが耐えがたい恐怖を描きだす。(小学校高学年～)



『セミクジラのぬけがら』 如月 かずさ 作 偕成社 (分類:913 キ)

なんでも集めるのが好きなミッチはある日、クジラのかたちをした木のかけらをひろいました。家に帰ったミッチがうっかり、木のかけらにむぎ茶をかけてしまうと、木のかけらは小さなクジラになって…。(小学校低学年～)



『「悩み部」の復活と、その証明。』

麻希 一樹 著 学研プラス (分類:913 マ)

5分程度の時間で読めて、ラストにはあっと驚く意外な結末が! 永和学園の自称「悩み部」に集まった個性的なメンバーが繰り広げる、ほろ苦くて、笑えて、切ない青春学園ストーリー。全16編の短編を収録。(中学生～)

